



答えは 16 ページに

議会だより

第49号

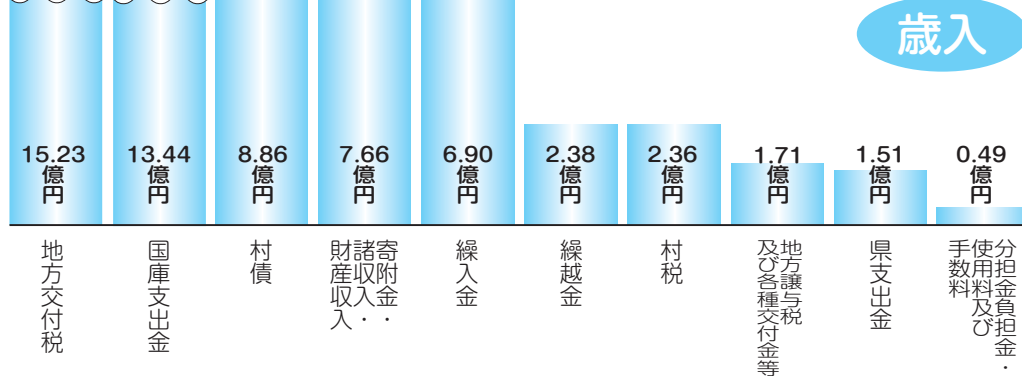
もくじ

3月定例会……………	14	各会計補正予算……………	21
主な新規事業等……………	14	第1回臨時会・第2回臨時会…	22
特別会計当初予算……………	16	一般質問……………	23
主な質疑……………	17	編集後記……………	26
条例などの審議結果…	20		

400万円

前年度比 0.42%減

3月 定例会



主な新規事業等

ほいほい広場遊具設置委託

ほいほい広場に新たにインクルーシブ遊具を整備するもの。

※インクルーシブ遊具

障害の有無、年齢、性別、国籍に関わらず、すべての子供と一緒に安全に遊べるように設計された遊具です。



予算額
220万円

令和8年第1回定例会は、3月10日(火)から18日(水)までの会期で開催され、人事1件、条例改正8件、村道認定廃止5件、工事請負変更契約の締結2件、令和7度各会計補正予算5件、令和8年度当初予算7件などが提案され、慎重に審議した結果、それぞれ原案どおり決定した。

一般会計予算の総額は、前年度と比較して2,600万円の減(▲0.42%)の予算となった。

岩野地区定住促進住宅整備測量・設計業務委託

岩野地区に新たな定住促進住宅を3棟整備するための測量設計業務を委託するもの。

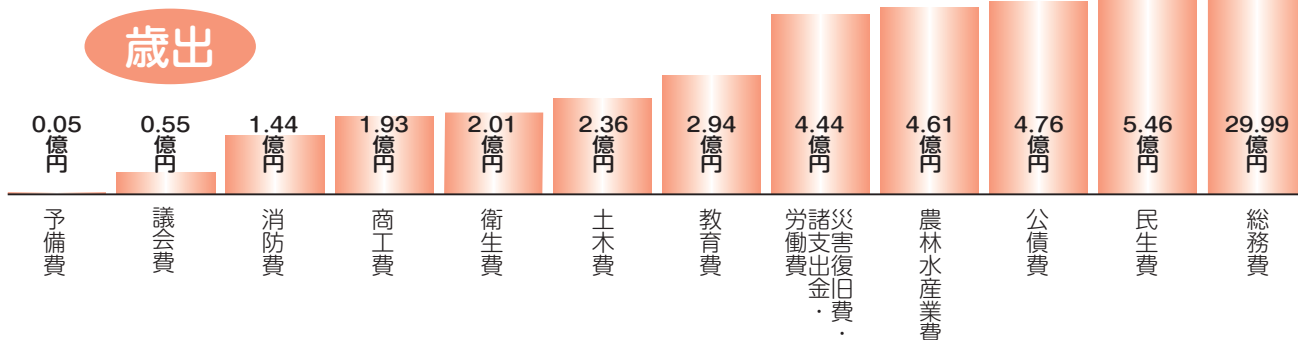


予算額
750万円

一般会計 当初予算

60億5,

歳出



湯山地区簡易水道施設 整備工事

湯山地区水道施設の老朽化に伴い新たに施設を整備するもの。

予算額
2億2,000万円



陸上競技場整備事業

陸上競技場整備のための用地造成後に400mトラック本体やその他必要な施設を整備するもの。

予算額
15億1,060万円

学校教材費助成金

これまで保護者が負担していた学校教材費に対する助成金。

(保護者の手続き不要)

予算額
248万4千円



令和8年度特別会計当初予算 **7億8,610万円** 前年度比 2.55%増

国民健康保険特別会計(事業勘定) 予算

2億7,300万円

前年度比 1.69%減 ↓

国民健康保険特別会計(直診勘定) 予算

970万円

前年度比 2.02%減 ↓

介護保険特別会計予算

4億4,950万円

前年度比 4.00%増 ↑

後期高齢者医療特別会計予算

5,390万円

前年度比 15.42%増 ↑

令和8年度公営企業会計当初予算 **5億2,859万円** 前年度比 24.42%増

簡易水道事業会計予算

3億1,234万円

前年度比 86.92%増 ↑

下水道事業会計予算

2億1,625万円

前年度比 16.10%減 ↓

令和8年度全会計予算 総額 **73億6,869万円**



A. 水上学園

市房ダム建設によって水没する事になった旧水上中学校。

昭和34年(1959年)1月20日、水上村は、水上中学校を湯前町字塩利5131番地の1に湯前町議会の同意を得て建築する事にしました。

同年8月28日に中学校体育館が完成し、昭和35年(1960年)2月7日、水上中学校校舎が完成しました。

この年の春、水上中学校生徒によるダム湖畔へ桜の植樹が開始され、この時の桜が後に「日本一の桜の里」を誕生させる事になりました。

今後も大切に育てていきたいものですね。



令和8年度当初予算審議は委員会形式

予算審査特別委員会を設置

予算審査特別委員会

3月10日の定例会初日、議長の提案により委員会を設置。

委員長に杉野久志議員、副委員長に小川恵議員を選出し、課毎に審議を行った。

全課の審議終了後、各会計の予算案について一括で採決をした結果、全員賛成にて原案のとおり決定することとした。



◆主な質疑

総務課関係

山崎隆浩 議員

Q

本年度より消防団の組織再編が行われたが、団員報酬又分団助成金はどのようになったか。

A

総務課長
報酬は4月より直接団員に支給。分団助成金は今までの約3倍に増やし、団員からの徴収はしない。

Q

今後、消防団員の大半が40歳代になると聞いたが、団員確保の見通しは。

A

総務課長
40歳代が52%であり、高い年齢まで頑張っていただけのような処遇を改善していく。また、退団後も消火

協力隊でお願いしていく。



荒嶽 晋 議員

Q

AEDの設置場所の周知と住民への心臓マッサージ等の講習の予定は。

A

総務課長
住民への再周知を行ない、4月に消防団の組織再編成をするので、上球磨消防署に講習をお願いしていきたい。なお、AEDの設置場所は上球磨消防組合HPで確認できる。

保健福祉課関係

成尾和英 議員

Q

人間ドックを主体にする考え方から集団検診の時期を4月から変更したのか。

A

担当保健師
自営業の方等の繁忙期を避け、受診しやすい12月上旬に変更した。人間ドックの補助体制も手厚くし、受診しやすい環境を整えた。



杉野貴文 議員

Q

介護予防拠点健康支援事業や健康運動指導事業などに取り組む予算措置となっているが、健康寿命の延伸と介護予防の目的からも今年8月オープン予定の旧湯山小学校を利用したスポーツサイエンス事業などと連携して行える事業の構想はあるか。

A

担当保健師 介護予防拠点健康支援事業と現在、各地区の公民館で行っている通いの場づくり事業の体力測定は、栄養指導も含めスポーツサイエンス施設を利用する。その他タイアップした取り組みのメニューは、所管の地方創生推進課と検討し

ているところ。



税務住民課関係

杉野貴文 議員

Q

3年ごとに見直されている宅地の現在の基準地評価額はいくらか。

A

担当職員 評価は業者に委託しており、岩野地区上楠の基準地が4,750円/m²、湯山地区下覚井が3,650円/m²となっている。来年度、見直しとなる評価額は、微減するかもしれない

が据え置きの見通しである。

産業振興課関係

荒嶽 晋 議員

Q

有害鳥獣捕獲後の手続について、人吉市では事務の簡素化ということで、スマホアプリを活用し写真と位置情報をデータで確認しているが、取り組む考えは。

A

産業振興課長 駆除隊には高齢の方が多いため、アプリを使えるかどうか、隊長会議で検討したい。



杉野貴文 議員

Q

商工会商品券助成事業予算を増額しプレミアム率30%で実施するようだが購入限度額はどのくらいか。

A

産業振興課長 今回、プレミアム率を20%から30%に引き上げ、一人あたりの限度額を4万円から2万円にすることで、広く行きわたるようにしたい。



建設課関係

米本宗徳 議員

Q

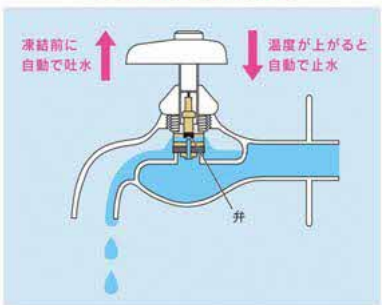
水道凍結防止水栓のこれまでの補助金交付実績は。建設課長 3月12日現在、40件。

A

提言

凍結により水道管が破裂した場合の修繕費より設置費用の方が安く済み、住民の負担を軽減できるがこの制度が周知不足であるため、引き続き設置を推奨して欲しい。

自動で凍結を防止



小川 恵 議員

Q 渇水期の水不足に
対する対応は。

A 建設課長

岩野地区は谷水が水源であるため水不足が懸念される。今後、地下水源の試掘と配水管の更新を行い安定確保に努める。

地方創生推進課関係

山崎隆浩 議員

Q

危険空き家等除却
推進事業補助金で
は、上限50万円5
件の予算措置だ
が、補助上限の増
額検討は。

A

担当職員
上限50万円はふる
さとマイホーム祝
金を基準としてい
る。今後、空き家
の増加が見込まれ
るため、エリアを

指定した補助金増
等の検討を行いた
い。



杉野貴文 議員

Q

ふるさと寄附金が、
スカイヴィレッジ、
サクラヴィレッジ、
スポーツサイエン
ス施設の指定管理
料を含む維持管理
費にも充当されて
いる。ふるさと寄
附金は、投資的事
業への運用は考え
られるが、制度上、
恒久財源ではない
ので施設の維持管
理費等への運用は
慎重に判断いただ

A

きたいと思うが。
担当職員

※ネーミングライ
ツ等の収益を活用
し、ふるさと寄附金
に頼らないような
運営を行っていき
たい。

※ネーミングライツ…企
業などが対価を払うこ
とで公共施設等に自社
名などを冠した愛称を
付ける権利(施設命名権)

教育課関係

杉野久志 議員

Q

体験学習田の借り
上げが、昨年は岩
野と湯山の2ヶ所
であった。今年
1ヶ所は学園内を
利用するというこ
とだが、何か理由
があるのか。

A

教育課長
湯山では米、岩野
ではサツマイモを
作っていた。距離
があり低学年の児

童が経過観察に畑
まで行けなかった。
学園の校舎とテニ
スコートの間の花
壇を利用するので
観察しやすくなる。



山崎隆浩 議員

Q

県から推奨された
英語のアプリを、
今後も使い続けたい
とのことだが、

A

どの様なアプリで
誰が利用している
のか。

教育課長

エルサという名称
で、生徒とA-が
会話でき、文章の
流れや発音などを
チェックし指示を
出してくれるアプ
リ。人間相手では
ないので、恥ずか
しさもなく話しや
すい。このアプリ
で訓練してALT
やオンライン英会
話に繋げていく。



○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第1号	水上村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	高瀬地区 ^{かいようこ} 甲斐陽子氏を選任	同意 (全員賛成)
議案第2号	水上村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	賦課方式変更に係る条例の一部改正	可決 (全員賛成)
議案第3号	水上村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	消防団の組織再編に係る条例の一部改正	可決 (全員賛成)
議案第4号	水上村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	令和8年度保険料に係る減免の特例を設ける条例の一部改正	可決 (全員賛成)
議案第5号	水上村公園施設条例の一部を改正する条例の制定について	公園施設の撤去に係る条例の一部改正	可決 (全員賛成)
議案第6号	水上村工場等設置奨励条例の一部を改正する条例の制定について	引用告示の改定に係る条例の一部改正	可決 (全員賛成)
議案第7号	水上村新型コロナウイルス感染症対策基金条例を廃止する条例の制定について	新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金を活用した商工業者向け利子補給事業の終了に係る基金の廃止	可決 (全員賛成)
議案第8号	水上村特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	特定乳児等通園支援事業の運営基準を定める条例の制定	可決 (全員賛成)
議案第9号	財産の処分について（村有林）	村有林の間伐に係る立木の処分	可決 (全員賛成)
議案第10号	工事請負変更契約の締結について（陸上競技場用地造成工事1工区）	陸上競技場用地造成工事1工区に係る変更契約を締結	可決 (全員賛成)
議案第11号	村道の廃止について（高城小学校線）	陸上競技場整備に係る村道高城小学校線の廃止	可決 (全員賛成)
議案第12号	村道の廃止について（小学校神揚線）	陸上競技場整備に係る村道小学校神揚線の起点変更による廃止	可決 (全員賛成)
議案第13号	村道の廃止について（覚井高城線）	陸上競技場整備に係る村道覚井高城線の廃止	可決 (全員賛成)
議案第14号	村道の認定について（小学校神揚線）	陸上競技場整備に係る村道小学校神揚線の起点変更による認定	可決 (全員賛成)
議案第15号	村道の認定について（覚井馬場線）	陸上競技場整備に係る村道覚井馬場線の認定	可決 (全員賛成)
議案第16号	県営農業競争力強化農地整備事業に係る分担金額の決定について（諏訪溝・小屋谷溝）	岩野地区（諏訪溝・小屋谷溝）の圃場整備等に係る分担金の決定	可決 (全員賛成)
議案第17号	団体営農業農村整備事業（農業水路等長寿命化・防災減災型）に係る受益者負担金額の決定について	湯山地区（高澄溝）の用水路改修測量設計に係る分担金の決定	可決 (全員賛成)
議案第18号	水上村辺地総合整備計画の変更について	水上村辺地総合整備計画の変更	可決 (全員賛成)
議案第19号	水上村過疎地域持続的発展計画の策定について	水上村過疎地域持続的発展計画の策定	可決 (全員賛成)
議案第20号	水上村商工会員の借入資金に関する預託について	水上村商工会員の借入資金に関する預託	可決 (全員賛成)
議案第33号	水上村スポーツサイエンス施設条例の制定について	旧湯山小学校を活用したスポーツサイエンス施設の設置に関する条例の制定	可決 (全員賛成)
議案第34号	工事請負変更契約の締結について（旧湯山小学校改築工事）	旧湯山小学校改築工事に係る変更契約を締結	可決 (全員賛成)
	議員派遣の件		可決 (全員賛成)
	継続審査申出書		可決 (全員賛成)

— 一般会計補正予算 —

令和7年度水上村一般会計補正予算 (第9号)

歳入歳出予算の総額から8,881万円を減額し、総額を**67億7,100万円**とするもの。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した水上村経済回復活性化事業(みずかみ生活応援券)923万円、旧湯山小学校改築工事7,900万円などを追加し、年度末の事業精算に伴い予算を減額したものの。

— 特別会計補正予算 —

令和7年度水上村国民健康保険 特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額から957万6千円を減額し、総額を**2億7,431万7千円**とするもの。

令和7年度水上村後期高齢者医療 特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額から138万2千円を減額し、総額を**4,850万6千円**とするもの。

— 公営企業会計補正予算 —

令和7年度水上村簡易水道事業 会計補正予算(第4号)

収益的収入の総額に11万2千円を追加し、総額を**6,179万9千円**とし、収益的支出の総額に202万5千円を追加し、総額を**7,554万6千円**とするもの。

併せて、資本的収入の総額から51万4千円を減額し、総額を**8,148万6千円**とし、資本的支出の総額に11万2千円を追加し、総額を**9,955万8千円**とするもの。

令和7年度水上村下水道事業 会計補正予算(第2号)

収益的収入及び収益的支出の総額をそのままとし、その内訳を変更するもの。

併せて、資本的収入の総額から360万円を減額し、総額を**1億2,308万6千円**とし、資本的支出の総額から586万7千円を減額し、総額を**1億5,071万2千円**とするもの。



議会を傍聴してみませんか

次回の議会定例会は6月です

(手続は住所・氏名を書くだけです)

詳しくは議会事務局 ☎ 44-0319 まで

第 1 回 臨 時 会

令和8年第1回臨時会が2月3日(火)に開催され、慎重に審議した結果、原案どおり決定した。

○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
議案第2号	工事請負変更契約の締結について（水上村陸上競技場用地造成工事2工区）	水上村陸上競技場用地造成工事2工区に係る変更契約を締結	可 決 (全員賛成)
	継続審査申出書について		可 決 (全員賛成)

令和7年度水上村一般会計 補正予算（第7号）※専決処分を承認

歳入歳出予算の総額に300万円を追加し、総額を**66億3,255万9千円**とするもの。衆議院議員総選挙に伴う経費300万円が追加計上された。

令和7年度水上村一般会計 補正予算（第8号）

歳入歳出予算の総額に2億2,725万1千円を追加し、総額を**68億5,981万円**とするもの。ふるさと応援基金積立金1億円、ふるさと寄付金事業費1億2,725万1千円が追加計上された。

第 2 回 臨 時 会

令和8年第2回臨時会が3月30日(月)に開催され、慎重に審議した結果、原案どおり決定した。

○条例などの審議結果（補正予算を除く）

議案番号	条 例 等	条例等の主な内容	審査の結果
	継続審査申出書について		可 決 (全員賛成)

令和7年度水上村一般会計 補正予算（第10号）

歳入歳出予算の総額に4,520万2千円を追加し、総額を**68億1,620万2千円**とするもの。減債基金積立金5千万円、国民健康保険特別会計（直診勘定）繰出金190万9千円などが追加計上された。

令和7年度水上村国民健康保険 特別会計(直診勘定)補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額を1,023万3千円そのままとし、財源の補正を行うもの。

村の現状！今後の見通しは！！

一般質問

**Q. 本村独自の教育支援を
生徒自身が学ぶことは**



杉野 貴文 議員

**A. 自己肯定感や郷土愛を
育むことにもつながる
のではないかと**

問 本村では、水上学園に在籍する児童生徒や高校等へ進学した生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、様々な教育支援が講じられている。このうち、保護者の申請を必要としない給食費の無償化と修学旅行費補助金の趣旨や内容について、周知は行き届いているのか。

答 修学旅行関係について、今年、水上学園の全児童生徒の保護者を対象にその制度や費用負担の在り方に対するアンケート調査を行っており、約7割の方から回答いただいている。その中で、修学旅行費用の保護者負担が総額の3割となっていることを約3割の方が知らなかったと回答されている状況である。

問 教育委員会、学校、地域では児童生徒が郷土愛を育む教育方針として何を掲げ、またどのような取り組みがなされているのか。

答 国や県・本村教育委員会の方針をもとに、水上学園が作成する学校経営案の中で郷土愛を育むふるさと学習「水上学」を掲げ、その実践として、水上っ子タイムトンネルや職場体験、子ども議会、文化祭での発表などに取り組んでいる。

問 給食費の無償化や様々な教育支援は、地域全体で子どもを育てるといふ本村の意思の表れであると考える。こうした施策の趣

旨や背景を生徒自身が学ぶことは、地域に支えられている実感を持ち、郷土への愛着や将来の地域参画意識を育むきっかけにもなるのではないかとと思うが、教育的観点からの見解を伺う。

答 一定程度の配慮も必要であるが、教育的観点から見ると公共性に対する理解を深めることや地域への信頼感を醸成することにより、近年、日本の子どもたちに不足しているともいわれている自己肯定感や郷土愛を育むことにもつながるのではないかと考える。

問 生徒たちが「総合的な学習の時間」等を利用して、子ども議会や租税教育と合わせて、「村の予算と教育支援を学ぶ」授業を展開できないか。

答 役場の様々な取り組みについて、より詳しく学ぶ機会を持つことで、生徒たちも学びを深め、一人ひとりが感じることで、伝わるものがより多くな

＜教育課関係 補助事業等概要＞ 令和8年3月10日現在

No.	事業名	事業開始年月	目的・趣旨	保護者申請要・不要
1	学校給食費無償化	H27.10	保護者の負担軽減を図るとともに、子育て支援及び教育の充実に資することを目的	不要
2	高等学校等通学費等支援補助	H28.04	水上村から高等学校等に通学する生徒に係る経済的負担の軽減を図り、子育て支援を目的	要
3	義務教育学校修学旅行費等補助	H28.04	保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を拡充することを目的	不要
4	語学検定料(英検・漢検)補助	H31.04	義務教育学校に在籍する児童生徒の語学力及び学習意欲の向上を図るため、英語技能検定及び漢字能力検定に係る検定料の保護者負担を軽減	要
5	家庭学習等のための通信費等支援補助	R02.10	学校の臨時休業等の緊急時において、ICTの活用によって、児童生徒が家庭等においても学びを保障できる環境を整備し、遠隔授業を進めるためインターネット通信費等の一部を補助	要
6	語学研修事業補助(旧 海外ホームステイ事業)	R07.04 制度改正	語学研修を通じて語学力の向上、国際感覚を養い、国際社会に対応できる人材の育成を図るため、研修参加に係る経費の一部を補助	要
7	水上っ子みらい応援助成金	R07.04	将来を担う人材育成に係る家庭の経済的負担の軽減を図り、子育て世代のライフステージに応じた切れ目ない支援を目的として補助	要

ることは間違いないと思う。また、7年生で学んだことが、次の8年生、そのまた次の9年生と継続して学び続けることで理解も深まっていくこととなる。今後は、授業時数の関係もあり、学園とも協議が必要ではあるが、積極的な取り組みにつながるよう、教育委員会としても努力してまいりたいと考えている。

水上村議会・水上村上京要望報告

主要事業の着実な推進に向けて要望書を提出

2月17日(火)から18日(水)にかけて本村議会議員全員と中嶽村長で国土交通省を訪れ、金子恭之国土交通大臣への要望活動を行いました。

なお、本村の主要事業を盛り込んだ「地域振興に係る提案及び要望書」の要望内容は次の3項目です。

1. 道路事業の整備促進
2. 簡易水道施設整備
3. 市房ダム湖周辺等整備

中嶽村長が本村の抱える課題を踏まえた要望書の内容を説明し、事業の早期実現に向けた支援を求めるとともに、今後の取組に関する有意義な意見交換を行いました。

今後も、村民の安全・安心の確保と地域の持続的発展に向け、関係機関との連携を図ってまいります。



金子大臣への要望書提出の様子

議会は「住民のひろば」

対話から始まる持続可能な地域づくり

1月20日(火)、熊本県町村議会議長会主催による議員研修会が開催され、「地方創生のゆくえと議会の役割」について、オンライン講演を受講した。

講師の青山彰久氏は、人口減少という転換期の今こそ、国に頼るだけでなく私たち自身の手で暮らしを良くしていく「地域主義」への転換が重要だと指摘。

議会が住民の声を生かす「住民のひろば」として機能し、持続可能な地域づくりのエンジンとなる必要性を強調した。また、社会行動、環境、労働法、現代倫理について学び、人とのつながりや安心できる場づくり、環境問題への向き合い方、働く人を守る仕組み、デジタル社会での判断など、村の行政運営に生かせる多くの気づきを得る研修となった。

演題：地方創生のゆくえと議会の役割

講師：ジャーナリスト あおやま あきひさ 青山 彰久 氏



オンライン形式で実施された研修の様子

水災害の頻発化・激甚化に対応するためには！

気候変動を踏まえた計画へ見直し

2月6日(金)、球磨郡町村議会議長会主催の議員研修会が錦町役場大会議室で開催され、全議員で参加した。

講演では、昨今の短時間降雨の発生回数の増加や台風の大型化、土砂災害発生頻発化などに触れ、過去の降雨実績に基づく治水計画から降雨量の増加などを考慮した計画に見直し、あらゆる関係者が協働し流域治水を進める必要性の説明があった。

また、川辺川の流水型ダムの整備スケジュールや技術的検討のプロセスの説明もあった。



研修を受ける球磨人吉の議員の様子

演題：治水対策とインフラ DX

講師：国土交通省大臣官房技術調査課 さいとう まさのり
齋藤 正徳 氏
(前川辺川ダム砂防事務所長)

全国町村議会議長会の国に対する重点要望を研修

議員のなり手不足対策が急務

2月24日(火)、上球磨正副議長会主催による「健康づくり交流会及び議会議員研修会」がゆのまえグリーンパレス、水上村岩野公民館大研修室で開催され、全議員で参加した。

講演では、熊本県町村議会議長会事務局長の古家陽介氏を講師に、全国町村議会議長会の重点要望でもある「議員のなり手不足対策」に関し、議員報酬や定数問題、議会議員の請負状況など、926町村議会のアンケート調査結果を基に問題解決に向けた研修があった。

また、健康づくり交流会では4町村議会対抗グラウンドゴルフ大会が開催され、本村議会が優勝を飾った。



研修を受ける上球磨の議員の様子

演題：町村議会をめぐる昨今の動向

講師：熊本県町村議会議長会事務局長 ふるいえ ようすけ
古家 陽介 氏

議員視察研修

2月18日(水)、全議員と中嶽村長で千葉大学柏の葉キャンパスにある千葉大学環境健康フィールド科学センターの視察を行い、「株式会社ハンモ」代表取締役社長の嶋村茂治しまむらしげはる助教授に施設内での研究や取り組みについて説明を受けた。

これから本村の旧岩野小学校の教室を活用して栽培が予定されている、イチゴやワサビの水耕栽培の研究がなされていた。



熊本県町村議会議長会自治功労者表彰受賞 (特別表彰：議員として在職 30 年以上)

議会議長 なす 那須 りょうさく 良策 氏

本村議会議長の那須良策氏が、熊本県町村議会議長会自治功労者表彰特別表彰を受賞され、2月20日(金)に伝達が行われました。

那須議長におかれましては、平成7年5月から30年間にわたり、本村行政の発展のため多大なるご尽力をいただいております。この度の功績に敬意と感謝を申し上げますとともに、那須議長の今後益々のご活躍を心より祈念いたします。



表彰を受ける那須良策議長

編集後記

杉野 貴文

「目に青葉山ほととぎす 初鰹」の句が思い浮かぶ季節となりました。陽光に若葉が映える眩い新緑に心が和み、さわやかな風に初夏の訪れを感じる頃です。ほととぎすの声に耳を澄ませながらも、初鰹と聞くとつい食卓のことが気になるのはこの時期ならではの楽しみではないでしょうか。江戸時代、初物を熱狂的に好んだ江戸の人々にとって、旬の鰹は別格も別格。江戸八百八町では、毎年、誰が初鰹を買うのか興味津々で、それを食べるのが江戸っ子の粋の証とされました。また、「初物七十五日」という言い伝えがあり、その年に初めて出回る旬のものを食べることで75日寿命が延びると信じられてもいたそうです。自然も食も旬を大切にしたいところですが、議会におきましても、地域課題の句を見逃さないことが重要です。時機を逸することなく、住民の皆さまと向き合いながら丁寧な議論を積み重ねてまいります。



広報特別委員会

委員長 荒嶽 晋
副委員長 山崎隆浩
委員 小川 恵
杉野 貴文